

感染症情報 7月31日～8月6日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①手足口病	1366例(堺市 113例)
②感染性胃腸炎	747例(堺市 23例)
③RSウイルス感染症	400例(堺市 13例)
④ヘルパンギーナ	386例(堺市 42例)
⑤溶連菌感染症	275例(堺市 8例)

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	14例(堺市 0例)
---------	------------

が報告された。

感染症報告数は前週から15.6%減の3,597件であった。報告の第1位は手足口病で以下、感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症の順であった。

1位の手足口病は府下で前週比26%減、堺市で前週比5%減であった。定点当たりの報告数は前週9.3→今回6.8に減っているが、当科周囲では依然多い。2位の感染性胃腸炎は府下で前週比15%減、堺市で52%減であった。RSウイルス感染症が3位に上がっており、府下で前週比42%増、堺市で18%増であった。定点当たり前週1.4→今回2.0となっている。ヘルパンギーナは府下では前週から8%減であったが、堺市では前週19例→今回42例で大幅増であった。溶連菌感染症は府下で前週比20%減、堺市では前週15例→今回8例であった。

インフルエンザは府下では前週22例→今回14例に減り、堺市では前週1例あったが、今回0になった。

麻疹の報告はなかったが、風疹が1例あった。

次回の集計は8月24日(木)予定。